

第4期ビジョン

中京地域産業界との共創 ～「心で工学」により社会変革を先導する大学を目指して～

戦略1 社会共創

未来社会の創造に貢献します
地域とのパートナーシップ、
研究成果の還元

戦略2 技術者育成（教育）

ステークホルダーに寄り添う「心で工学」
をベースとした教育を実践します
未来社会を創造する豊かな
文化的視点を持つ多様な人材の育成

戦略3 研究開発

地域が求める世界レベルの
先端研究を推進します
地域産業界に応える科学知と
イノベーションの創出

戦略4 組織強化

教育・研究・社会貢献の機能を
最大化する基盤をつくります
自律性と透明性あるガバナンスを確保

「地域の期待」と 本学の学術推進組織における「強み」

自動車産業や航空宇宙産業など
強い製造業が集積する
中京地区



スタートアップが生まれる環境が整う
鶴舞地区



未来通信研究センター

デジタル社会を支えるモビリティ通信、特にその高信頼化
の研究を実践するイノベーションハブの実現を目指す

- ◆NICT Beyond5G研究開発促進事業（2022-25）
- ◆JST-Kプログラム（検知技術2023-28、制御技術2024-29）
- ◆経産省国際標準開発事業（2024～26）
- ◆車載システムEMCコンソーシアムに28社参加（2024開設～）



オプトバイオテクノロジー研究センター

光が関わる生命現象を工学として解析することにより、
全く新しい産業の創出に貢献することを目指す

- ◆国内外の有力40機関以上と連携した共同研究体制
- ◆バイオインダストリー大賞(2024)、文科大臣表彰若手科学者賞(2024)、紫綬褒章(2021)、島津賞(2020)、など受賞多数
- ◆視力を失った患者に対する視覚再生治療製剤を目指した治験(2025開始～)



先端医用物理・情報工学研究センター

データ科学応用により、公衆衛生・医療・製品設計が
抱える諸問題を解決することを目指す

- ◆政府/自治体と連携した感染症危機管理や熱中症リスク評価
- ◆文科大臣表彰科学技術賞(2024)、日本オープンイノベーション大賞(2022)、日本学士院奨励賞(2018)、など受賞多数
- ◆国際非電離放射線防護委員会ICNIRPの議長就任(2023)
※ アジア初



窒化物半導体マルチビジネス創生センター

本学保有技術をもとに、窒化物半導体パワーデバイス
の実用化・事業化に向けた研究開発の推進を目指す

- ◆結晶成長から評価・分析まで研究開発できる設備導入
- ◆NEDO 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム(2024～28)
- ◆共同研究契約(134,264千円)、成果有体物(サンプル出荷)収益11,990千円
※ 2024年度実績



学長主導の経営改革構想

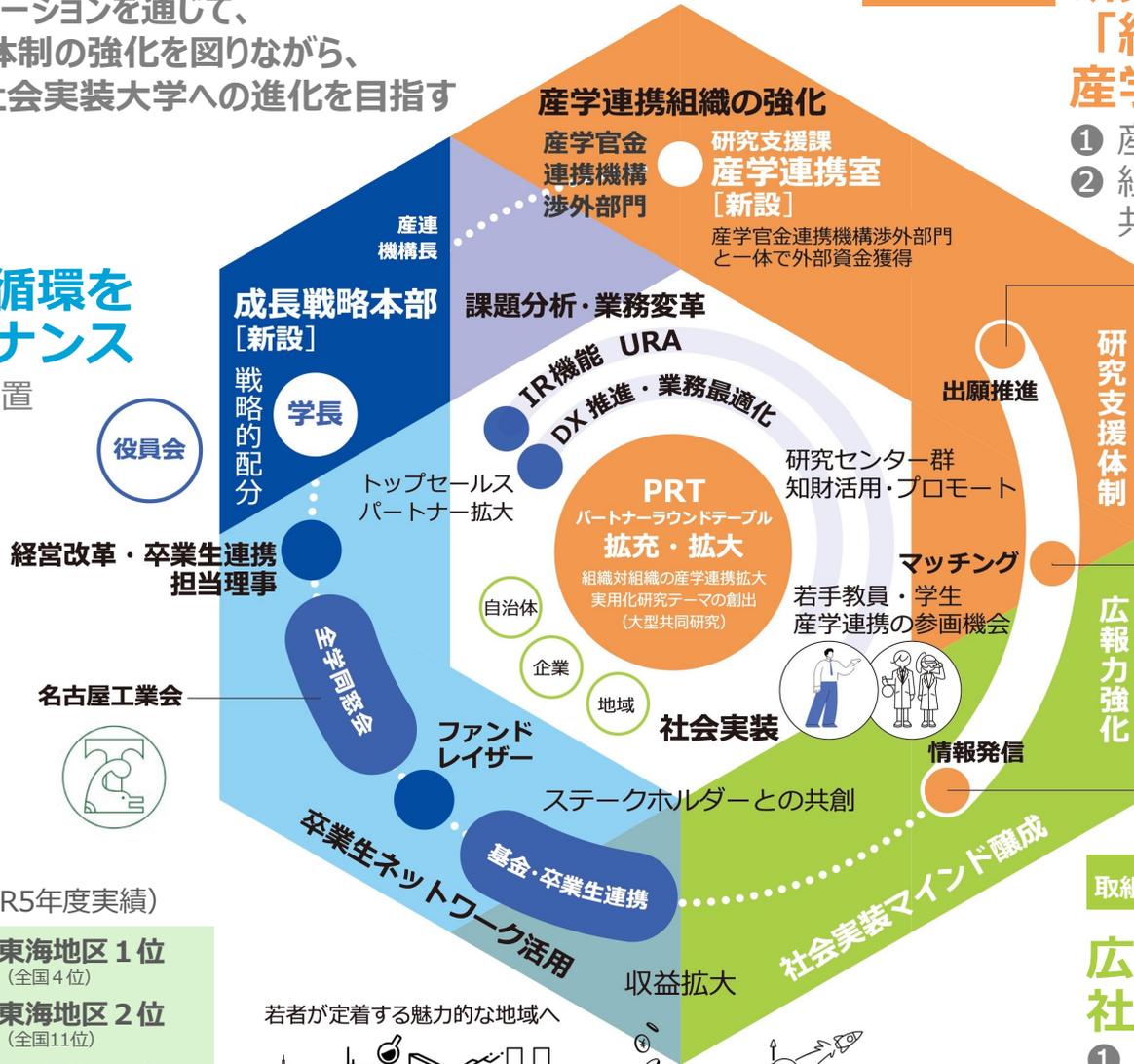
製造業やスタートアップ、アカデミアが連携する中京地域
発のオープンイノベーションの実現と加速に向けて、
持続可能な収益基盤の構築と機動的かつダイナミックな
経営マネジメントを推進し、国内屈指の社会実装大学と
して、新たな価値を創造することを目指す

製造業群やスタートアップとアカデミアが共創する
新たなオープンイノベーションを通じて、
持続的な収益獲得体制の強化を図りながら、
国内トップクラスの社会実装大学への進化を目指す

取組 1

大学経営の好循環を実現するガバナンス

- 1 成長戦略本部の設置
- 2 戦略的配分
- 3 卒業生連携強化



取組 2

研究エコシステムの強化と「組織」対「組織」の産学連携の拡大

- 1 産学連携体制の強化
- 2 組織対組織の産学連携を拡大し、共同研究費受入を増加

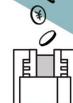
名工大の産学連携実績 (R5年度実績)

研究者 1 人当たりの共同研究費受入額	東海地区 1 位 (全国 4 位)
知的財産収入	東海地区 2 位 (全国 11 位)
地域社会との産学連携件数	東海地区 2 位 (名古屋大に次ぐ)
現存するスタートアップ数	東海地区 3 位 (名古屋大、静岡大に次ぐ)

若者が定着する魅力的な地域へ



収益拡大

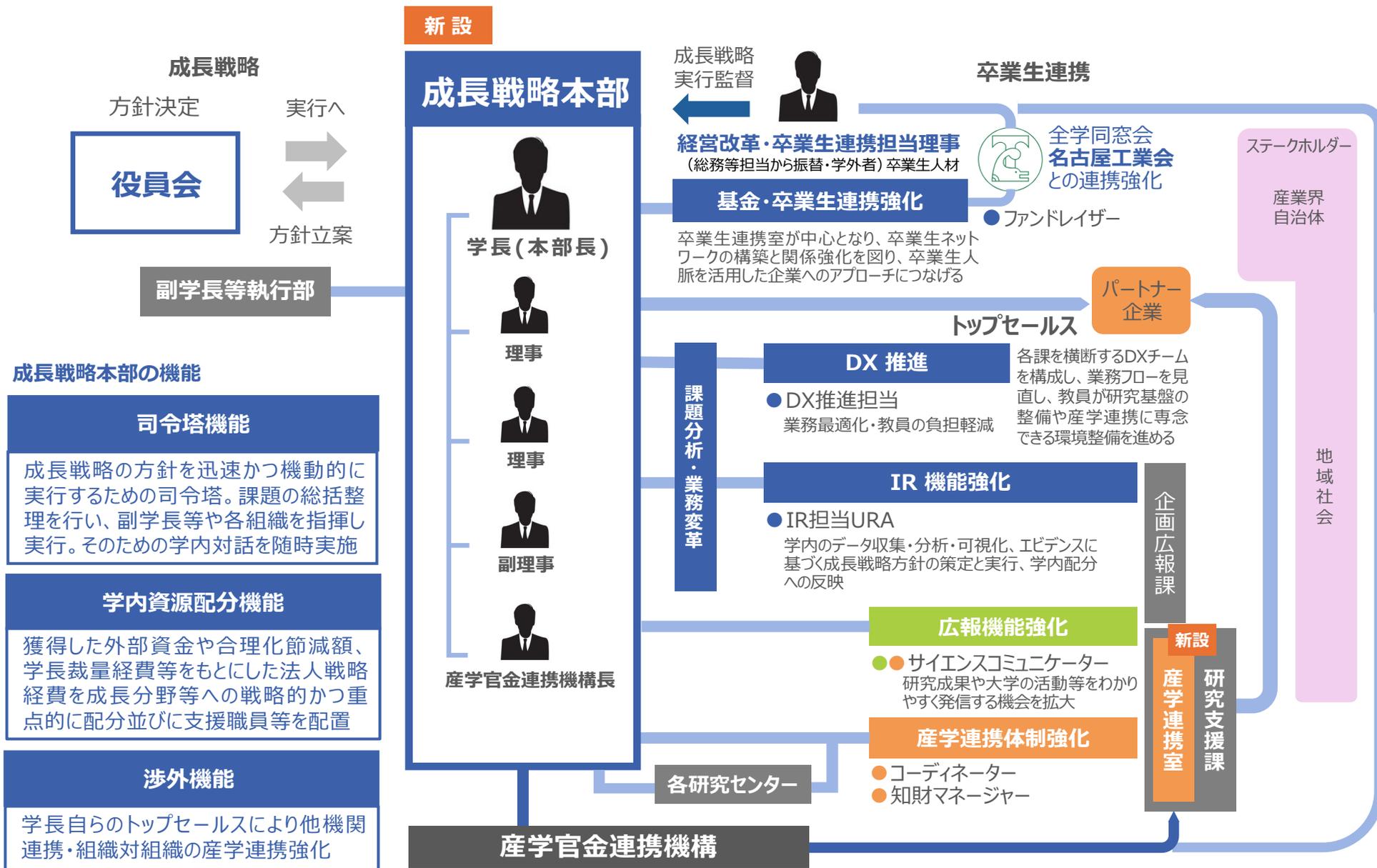


スタートアップ創出

取組 3

広報力強化と若手教員の社会実装マインドの醸成

- 1 研究成果の社会共有
- 2 ステークホルダーとの共創活動
- 3 学内の社会実装マインドの醸成



産学連携組織の強化

産学連携人材の育成を含めて
研究支援課に産学連携室を設置し、
産学連携人材へと育成

パートナーラウンドテーブルや技術相談等に対応し、最適な交流の場と産学連携プランを提案
ネーミングライツの営業や新しいリカレント教育の提案も担当

職務の壁を取り払って「外部資金獲得チーム」へと再編



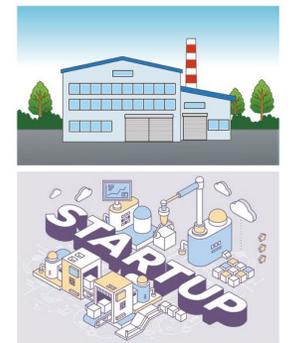
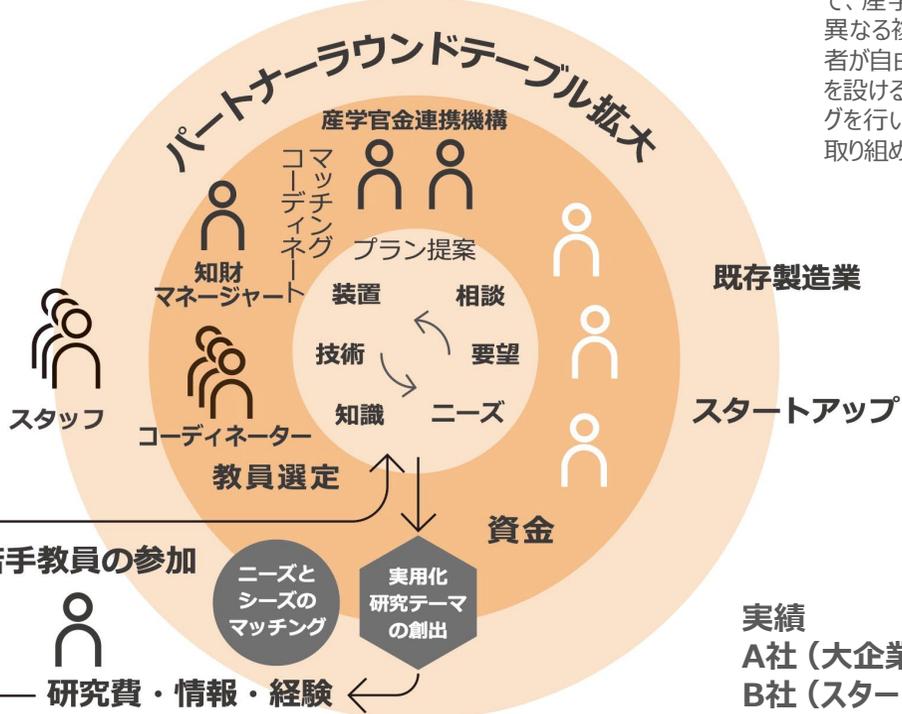
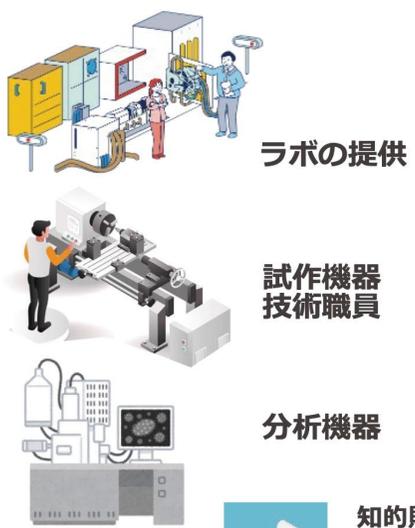
トップセールスによる
パートナー企業の拡大

「組織」対「組織」の産学連携を拡大
実用化研究テーマ創出 (大型共同研究)

学内資源のフル活用 最適な交流の場の提供

PRT/具体的な研究テーマを設定せずに、パートナー企業の将来ビジョンに関して、産学連携の担当者が研究分野の異なる複数の大学研究者と企業技術者が自由に意見交換できる「交流の場」を設けることで、ニーズとシーズのマッチングを行いながら、お互いが総力をあげて取り組める共同研究テーマを作り上げる

名古屋工業大学



パートナー企業

実績
A社(大企業) : PRT+分析機器
B社(スタートアップ) : PRT+ラボ

